

2022（令和4）年度
ウィズ新宿と区民団体との連携講座

YouTube限定配信による
オンライン講座 無料

★男女共同参画の推進と多様な生き方をみとめあう社会づくり★

子どもからのSOS

コロナ禍は子どもにとって
どんな体験になっているか

長引くコロナ禍は、子どもたちにとってどんな体験となるのか、子どもたちのSOSの声に耳を傾けてみましょう。子育ての場や地域社会で、大人はどのように子どもに向き合っていけば良いのか、子どもたちのSOSに対面してきたスクールカウンセラーのお話から、何かをつかみ取ってください。

動画公開期間 12月9日（金）～22日（木）

講演時間約90分

講師 川浦 弥生

スクールカウンセラー、臨床心理士・公認心理師

対象：区内在住・在勤・在学でYouTube動画配信を見る機器をお持ちの方

申込方法：新宿区ホームページよりお申し込みください。
申込者へ動画サイトのURLを送信します。



※申込にてご提供いただく
個人情報の取扱いは当区の
個人情報保護方針に基づき、
安全に管理・保管いたします。

申し込み期間：11月7日（月）～12月20日（火）
※申し込み後、3日以内に返信がない場合はお問い合わせください。

問い合わせ先：

【内容について】矯風会

✉ kyofukai-somu@festa.ocn.ne.jp（かわたに）

【申込について】新宿区子ども家庭部男女共同参画課

☎ 03-3341-0801（日・祝日除く8:30～17:00）



講師 川浦 弥生 (かわうら やよい)

1960年生まれ。明治学院大学、北海道教育大学大学院修士課程卒業。

1997年より沖縄県にて心理相談業務開始

(保健所、保育所、自治体など)、

2000年に臨床心理士、2019年に公認心理師資格取得。

東日本大震災後、文科省・岩手県教育委員会からの依頼で心理面サポートに従事。

2020年度横浜YMCAピンクシャツデーにいじめ問題の講演。

現在 公立学校スクールカウンセラー、
農村伝道神学校牧会心理学講師。

講演の主な内容

- 子どもの変化に気づくためには、どんなことに気をつけるのか。
- 子どもの変化に気づいたらどうするの。
- 急性ストレス反応とPTSDの違い
- 子育ての場や地域で、大人はどのように向き合っていくか。
- コロナ収束後も、さまざまな原因で被災することがある。どういう場面で介入が必要か。
- 親が相談できる場所

公益財団法人日本キリスト教婦人矯風会

1886年、キリスト者女性が中心となって設立。廃娼運動や酒害啓発、世界平和などの運動を続け、全国の会員がそれぞれの地に女性と子どものための福祉施設を造った。

現在は女性の人権事業を継続するほか、DV被害者を中心に国籍を問わない女性と子どもの緊急避難施設「女性の家HELP」を運営している(施設所在地は非公表)。

本部事務所：〒169-0073 東京都新宿区百人町2-23-5 <https://kyofukai.jp/>

新宿区立男女共同参画推進センター (ウィズ新宿)

男女共同参画社会の実現を目指し、区民の意識や関心を高めるための様々な講座やフォーラムを開催している。

悩みごと相談室では、相談員が電話相談を受けている(月~土曜日、無料)。

その他に会議室、図書資料室あり。

都営地下鉄新宿線「曙橋駅」A4出口から徒歩3分。
荒木町16番地。

